

特集

広げようリサイクルの輪 つなげよう地球環境を次世代へ

分別への確かな目



リサイクル率の向上にも表れているように、狭山市の皆さんのごみ処理に関する意識は全体的に非常に高いことがうかがえます。ただ、ごみの

内訳を見ると、分けて出せば資源となるものが多く含まれていることが分かります。また、清掃センターでの現状を見ると、「ごく一部自分だけなら」という考えの人もいるようです。ではごみの出し方と分別のもっと身近なところに目を向けてみましょう。

皆さんは、狭山市に「廃棄物減量等推進員」という、市民のリーダーとなつて活動して下さるかたがいるのを存じですか。推進員の仕事は集積所の調査を通じた行政と地域のパイプ役で、約300人の皆さんの確かな目が、狭山市のごみ分別を見つめているのです。

よりよい地域社会のために

若葉台地区の推進員さんに、日々感じていることやどんなふうに分別の徹底を呼びかけているのかをお伺いしました。

私たち若葉台地区では、ごみの減量や分別、不法投棄の防止のために地域全体で取り組んでいます。私たち推進員は市から委嘱され、チェック項目に従つてごみの分別を調べたり、皆さんに正しく出していただくように働きかけるのが仕事です。また、自治会の組織の中に衛生担当の副会長とB幹事というごみの分別の

幹事と推進員との会議が開かれたことがないので、もっと連絡が密に取れるように改めていきたいですね。

住民の皆さんに注意を呼びかけるのは、月に1回発行している広報と随時回覧しているチラシです。役員が一生懸命やっている姿を見て、他の皆さんもだんだんと理解してくるようになり、分別もできてきました。また、ごみだけでなくさまざまな地域の問題も徐々に改善されています。とはいえまだまだ課題も多いので、これからも「住民ができるこ

とは、小さなことでも気持ちよくやる」というつもりで一日一善の実行的な活動が続けていきたいです。

推進員や役員の方々に對する理解が深まり、全ての人が分別をしっかりと意識することが地域の和を強め、集団回収など身近なところからの効果的な資源の回収も実現でき、地球環境を守ることもつながります。皆さんの地域ではどんな取り組みがされていますか。

身近なごみの分け方・出し方

混ぜてしまえばみんなごみ

日常生活の中で質問の多い品物を例にとって、正しい分別方法をご紹介します。あなたは今まで正しく分別できていたでしょうか。もし生活の中で「これはどっちかな?」と迷うような物があつたら、まずは「生活ごみの分け方出し方」を参考にしてみてください。そして分からないときは、清掃センター(☎953-2831)やリサイクルセンター(☎953-4704)にお気軽にお問い合わせください。「分けて出そう」と思うあなたの気持ちが、リサイクルの輪の始まりです。



リサイクルの輪を結ぶみんなの和

皆さんのご協力で集められた貴重な資源は、工場などで再生され、また私たちの手元に戻ってきます。しかし私たちが再生品を使わなければ、リサイクルの輪を結ぶことができません。

皆さんのご協力で集められた貴重な資源は、工場などで再生され、また私たちの手元に戻ってきます。しかし私たちが再生品を使わなければ、リサイクルの輪を結ぶことができません。

ごみを減らすこと、分けて出し資源化すること、そして再生品を使うこと、この3つが私たちの未来に素晴らしい地球環境を残していくための

問い合わせ「ごみ減量資源リサイクル推進チーム」へ内線531

集まった資源は こんな物に生まれ変わります

- ペットボトル：繊維になって衣類や毛布などになります。また、文具などにも利用されています。狭山市では、職員の作業服や防災の備蓄品(毛布)に使っています。
- 牛乳パック：トイレットペーパーになります。ただ、回収は順調ですが再生品の使用率が低いのが現状です。
- 古布：工場で使うウエスができます。また、きれいな物は東南アジアなどに輸出されています。
- 食品用トレイ：ボールペンや定規などの文具になります。狭山市も積極的に購入しています。企業でも事務用品や景品などに再生品を使うと、需要も伸び、リサイクルの輪がより強くなります。

ごみを減らして緑を増やそう！キャンペーン

皆さん一人ひとりのご協力でごみが減ると、自然保護のための緑地がどれ位取得できるでしょうか。

<家庭からのごみ減量>

一世帯で年間**10kg**ごみを減量すると、
狭山市全体では**585.82t**減量。

<ごみ処理費の削減>

これを処理費用に換算すると、
2千33万6千741円
削減できたことになります。

<緑地取得のために活用>

この費用でどれ位の緑地が取得できるでしょうか。

笹井の斜面緑地なら…

678平方メートル(205坪)

上赤坂・堀兼の平地林なら…

508平方メートル(154坪)

「一人当たりどれ位ごみを減らせばいいの?」

一日わずか**10g**です。

一人一日10gは、いすれば減らせます

- ・生ごみの水切りをきちんとしましょう。大きじ一杯の水は15g、ほら、簡単。続ければすぐ目標達成。
- ・まだまだリサイクルできる紙類をもやすごみに出していませんか。ごみ箱の脇に紙袋を置いて、ダイレクトメールやレシートなど紙は全部その中に…。はがき約4枚で10g達成。
- ・毎日毎日、食べ物をたくさん捨てていませんか。プチトマト1個10g、うめぼしが1個約10gです。食べ

されるだけ作り、使い切れるだけ買えば、無駄にならずにすみます。
・暑いこの時期、子どもたちもジュースなどを欲しがりますね。でも、1.5ℓのペットボトル1本は約50g、500mlのものでも約28g。ペットボトルの飲み物をやめて、リターナブルびんを選び、酒屋さんに返却したら、1本で家族みんなの一日の目標が達成できます。